

## 学校・地域・家庭の様子についてのアンケートから

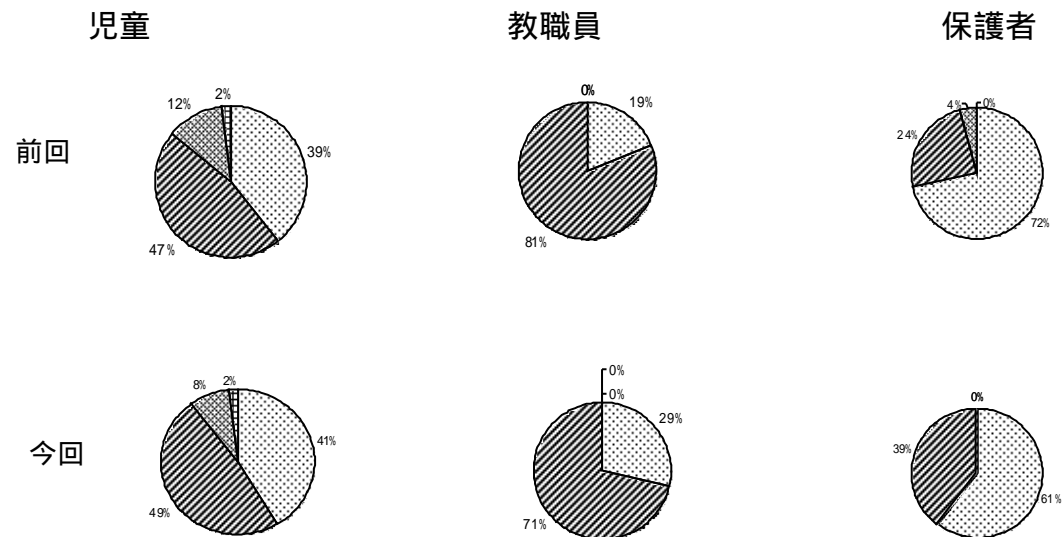
昨年の6月に保護者の皆さん，9月に全校児童・教職員を対象に学校・地域・家庭での生活の様子についてアンケートを実施しました。そして今年の2月に同じ対象・内容でアンケートを実施し，2回の集計結果を比較してみました。

よくあてはまる    あてはまる    どちらともいえない    あてはまらない

### 1 学校生活

「学校生活は楽しい。」(児童)

「児童は，学校に楽しく登校している。」(保護者・教職員)

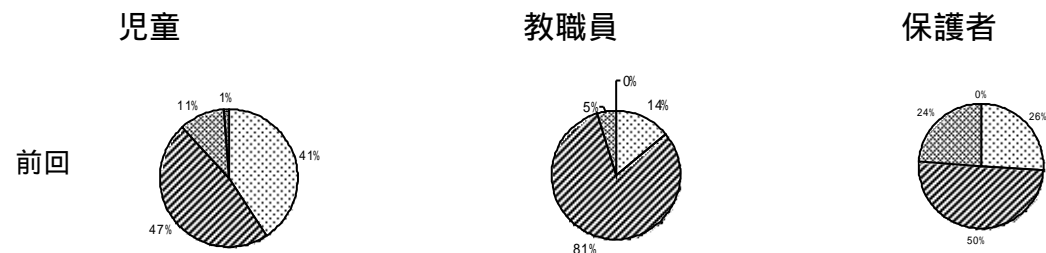


学校生活につきましては，保護者・教職員は前回と変わらずほぼ全員が楽しく登校できていると答えています。児童は，前回と比べて「よくあてはまる」「あてはまる」が85.8%から89.8%に増え，「どちらともいえない」「あてはまらない」が14.2%から10.2%に減っています。これは，前回の集計結果を受け，各クラスで学級指導を行い，生徒指導の取組を強化した成果だと考えますが，「あてはまらない」と答えている児童が依然として1.9%いることにつきましては，0%を目指し，今後も指導を継続していく必要があると考えています。

### 2 あいさつ

「元気よくあいさつができる。」(児童)

「児童は積極的に挨拶したり礼儀正しくしたりできる。」(保護者・教職員)

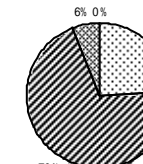
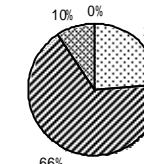
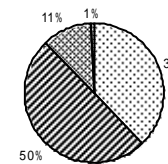


## 児童

## 教職員

## 保護者

今回



あいさつにつきましては，保護者の方の「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が前回の76.1%から93.9%に大幅に増えています。これは，ご家庭であいさつの大切さについて話し合っていたいただき，実践していただいた結果だと考えています。ありがとうございます。今後も，児童自らが進んで時と場合に応じた適切なあいさつができるよう，指導をしていきます。

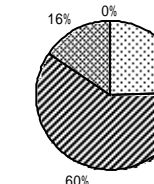
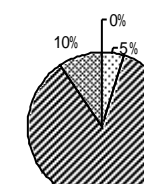
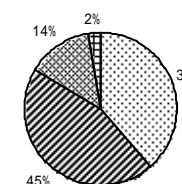
### 3 学習

## 児童

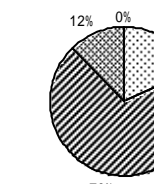
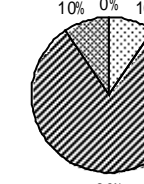
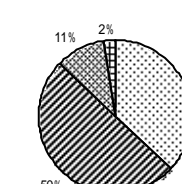
## 教職員

## 保護者

前回



今回



学習につきましては，「よくあてはまる」「あてはまる」の割合が，教職員はほとんど変わっていませんが，児童・保護者の割合が増えています。

本校では，始業前の15分を使って火・木曜日は基礎・基本の漢字練習と計算の習熟の時間と位置づけ，自学・自習の習慣化を図っています。また，高学年の算数科では，習熟度別の学習形態を取り入れ，理解の定着を図っています。更に，夏季休業中は，基礎学力を中心に補充学習会を実施しています。これらの取組を通して，子どもたちの学力は確実に上がってきています。先日の学力調査の結果においても，本校児童の学力実態が全国平均より算数も国語も上回っていることが証明しています。

今後もより一層の学力向上に向け，様々な取組を行っていきたいと考えていますので，保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。